

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	東洋製罐豊橋工場 入出荷棟	階数	地上4階		
建設地	愛知県豊橋市明海町3番60 ほか3筆	構造	S造		
用途地域	工業専用	平均居住人員	20人		
気候区分	6地域	年間使用時間	5,400時間/年		
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2019年5月10日		
敷地面積	52,125 m ²	作成者	北川 国彦		
建築面積	1,830 m ²	確認日	2019年5月15日		
延床面積	4,841 m ²	確認者	桂川 佳裕		

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ 温暖化影響チャート	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p>BEE = 0.9 ★★★★★</p>	<p>★★★★★</p> <p>個別計算 ①参照値 100% ②建築物の取組み 77% ③上記+②以外の 31% ④上記+ 17%</p>	

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.6</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.6</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 1.9</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.8</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0</p>

3 重点項目	
<p>①地球温暖化への配慮 3.8</p>	<p>③敷地内の緑化 1.0</p> <p>外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積) 35.7%</p> <p>建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積) 0.0%</p>
<p>②資源の有効活用 3.3</p>	<p>④地域材の活用 1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料> なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材> なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部						建物全体・共用部		居住・宿泊部分		全体	
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄				建物全体・共用部		建物全体・共用部		居住・宿泊部分		全体			
		評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質													2.6		
Q1 室内環境													2.6		
1 音環境													-		
1.1 室内騒音レベル													3.0		
1.2 遮音													-		
1 開口部遮音性能													-		
2 外壁遮音性能													-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)													-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)													-		
1.3 吸音													-		
2 温熱環境													-		
2.1 室温制御													-		
1 室温													3.0		
2 外皮性能													3.0		
3 ゾーン別制御性													3.0		
2.2 湿度制御													3.0		
2.3 空調方式													3.0		
3 光・視環境													-		
3.1 昼光利用													-		
1 昼光率													3.0		
2 方位別開口													-		
3 昼光利用設備													3.0		
3.2 グレア対策													-		
1 昼光制御													5.0		
3.3 照度													3.0		
3.4 照明制御													3.0		
4 空気質環境													-		
4.1 発生源対策													-		
1 化学汚染物質													3.0		
4.2 換気													-		
1 換気量													3.0		
2 自然換気性能													3.0		
3 取り入れ外気への配慮													3.0		
4.3 運用管理													-		
1 CO ₂ の監視													3.0		
2 喫煙の制御													3.0		
Q2 サービス性能													0.43		
1 機能性													-		
1.1 機能性・使いやすさ													-		
1 広さ・収納性													3.0		
2 高度情報通信設備対応													3.0		
3 バリアフリー計画													3.0		
1.2 心理性・快適性													-		
1 広さ感・景観 (天井高)													3.0		
2 リフレッシュスペース													3.0		
3 内装計画													3.0		
1.3 維持管理													-		
1 維持管理に配慮した設計													3.0		
2 維持管理用機能の確保													-		
2 耐用性・信頼性													0.5 3.1		
2.1 耐震・免震・制震・制振													0.4 3.0		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)													3.0 3.0		
2 免震・制震・制振性能													3.0 3.0		
2.2 部品・部材の耐用年数													0.3 3.3		
1 躯体材料の耐用年数													3.0 0.23		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔													3.0 0.23		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔													3.0 0.09		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔													3.0 0.08		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔													5.0 0.15		
6 主要設備機器の更新必要間隔													3.0 0.23		
2.4 信頼性													0.1 3.0		
1 空調・換気設備													3.0 3.0		
2 給排水・衛生設備													3.0 3.0		
3 電気設備													3.0 3.0		
4 機械・配管支持方法													3.0 3.0		
5 通信・情報設備													3.0 3.0		

給水管VLP-B、汚水排水VP-B、E不使用

重点項目スコアシート

東洋製罐豊橋工場 入出荷棟

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.8
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.8	0.10	
② 資源の有効活用				3.3
Q2-2	耐震性・信頼性	3.1	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	4.2	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.6	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.17	外構緑化:35.7%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■建物名称 東洋製罐豊橋工場 入出社

計画上の配慮事項	
総合	<p>注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。</p> <p>既存の工場に接続して機能的なレイアウトの工場とする</p>
Q1 室内環境	<p>注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 対象外</p>
Q2 サービス性能	<p>注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>工場として十分な階高と床荷重を設定している</p>
Q3 室外環境(敷地内)	<p>注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>適切な空地の配置</p>
LR1 エネルギー	<p>注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>LED照明器具を全面的に採用</p>
LR2 資源・マテリアル	<p>注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>節水便器、自動水栓を採用</p>
LR3 敷地外環境	<p>注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>駐車・荷捌スペースを適切に確保</p>
その他	<p>注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>